

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	テニスコート改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	狩谷昭夫			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	無し	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	無し
②①に基づく取り組み結果	無し		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	東初富テニスコート	意図(対象をどうするのか)	施設の更新を行う。
②事務事業の概要	東初富テニスコートの人工芝やネットフェンス改修工事による施設更新を行うもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	テニスコートの稼働率は非常に高く、人工芝の劣化も激しいため部分的な補修対応をしていたが、継ぎ目の段差等による危険性等が指摘されていた。しかし、今回の施設更新により、安全で快適なテニス環境が整備された。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	安全で快適なテニス環境が整備された。					
②成果を表す指標	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i テニスコート改修			3	面	
	ii 練習コート改修			1	面	
	iii フェンス改修			240	m	
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算	
事業費(千円)	0	36,448	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)			36,448	改修工事		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)		27,200				
一般財源(千円)		9,248				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	無し					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	改修工事が完了した。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	改修工事完了	平成30年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	改修工事完了	51,171	51,171	当初	51,171	36,448	H29からの繰越	
				H29⇒30繰越			現年分	
③達成状況	完了			補正				
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		令和元年度への繰越額(単位:千円)						0

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	陸上競技場改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	狩谷昭夫			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	改修工事の施工、完成。 元年度購入公認機器の精査。	③令和元年度に取組む改革・改善内容	日本陸連公認の用器具を購入し、第4種公認を取得する。
②①に基づく取組み結果	競技場トラック、フィールドなどの工事は完了した。公認用器具収納のための倉庫建築工事は、元年度に繰り越した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	陸上競技場	意図(対象をどうするのか)	グラウンド内を中心に近代的な陸上競技場として改修する。
②事務事業の概要	陸上競技場トラック等の全天候化、インフィールドの人工芝生化を行うもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市内中学校から、公認記録が取れる陸上競技場の要望があること、サッカー協会からは人工芝のフィールドの要望がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	競技場トラック、フィールドなどの工事が完了した。スポーツ振興くじ助成金の交付を受けた。						
②成果を表す指標	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠	
	i	トラック等全天候化			6,227	m <sup>2</sup>	業務取得
	ii	砲丸落下域アンツーカ舗装			167	m <sup>2</sup>	業務取得
iii	インフィールド人工芝生化			9,740	m <sup>2</sup>	業務取得	
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	3,542	496,294	金額(千円)	内容	56,072		
国支出金(千円)			490,179	改修工事			
県支出金(千円)			6,080	工事監理委託			
市債その他(千円)		386,800	35	公認検定手数料	20,000		
一般財源(千円)	3,542	109,494			36,072		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	陸連公認に必要な備品を購入し、陸連第4種公認を取得する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	用器具購入、メインスタンド改修工事の必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	トラック、フィールド改修工事完了	平成30年度事業費の状況(単位:千円)				
		計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	トラック、フィールド改修工事完了	619,249	当初	496,294	H29からの繰越	0
			H29⇒30繰越		現年分	496,294
③達成状況	完了		補正	619,249		
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
			令和元年度への繰越額(単位:千円)	13,000(財源:地方債9,700他一般)		